

J8085

第1刷

2013年7月

**Copyright © 2013 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.**

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

# もくじ

<b>Dual Intelligent Processors 4</b> .....	<b>4</b>
4-Way Optimization .....	4
TPU .....	5
EPU .....	7
DIGI+ Power Control.....	8
Fan Xpert 2.....	9
<b>ASUS Wi-Fi GO! カード</b> .....	<b>11</b>
ASUS Wi-Fi GO! カード 仕様一覧.....	11
インストールする.....	13
Wi-Fi GO! カードユーティリティ.....	13
<b>Wi-Fi GO!</b> .....	<b>15</b>
システム要件.....	15
Wi-Fi GO! を使用する.....	16
Wi-Fi GO! & NFC Remoteを使用する.....	17
Wi-Fi GO機能.....	18
Cloud GO!を使用する.....	19
Remote Desktopを使用する.....	19
DLNA Media Hubを使用する.....	20
File Transferを使用する.....	21
<b>RF Equipment Notices</b> .....	<b>24</b>

## このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。



**警告:** 作業人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



**重要:** 作業を完了するために必要な指示や設定方法を記載しています。



**メモ:** 製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。



- 
- 本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。
  - 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。
-

## Dual Intelligent Processors 4

Dual Intelligent Processors 4 は、TPU、EPU、DIGI+ Power Control、FanXpert 2の4つのユーティリティに加え、EPUの動作モードを即座に変更することで消費電力の削減をサポートするPower Saving Formulaを加えた5つのユーティリティサービスを統合した、まったく新しいシステムコントロールソリューションです。

### 4-Way Optimization

TPU、EPU、DIGI + Power Control、Fan Xpert 2の設定を、ボタン一つで最適化することができます。



4-Way Optimizationの実行中は、ファンやデバイスを取り外したり、UEFI BIOSの設定を変更しないでください。

## TPU

TPUでは、CPU動作周波数、CPUコア部/アンコア部の動作倍率、統合グラフィックス動作周波数と電圧、各種電圧といった項目を手動で細かく調整することができます。



CPU電圧の調節を行う前にCPUに付属の説明書や仕様書等を必ずご確認ください。設定値が高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステムが不安定になる原因となることがあります。



システム保護の観点から、本ユーティリティで設定した内容はBIOSに反映されません。よってシステムを再起動した際にも本ユーティリティでの設定は反映されず、BIOS設定値で起動します。本ユーティリティで設定した内容を継続して使用するには、設定をプロファイルとして保存し、システム起動後に手動でプロファイルを読み込ませてください。

## TPUを使用する

### CPU Frequency

調整バー

コア数を選択

設定を適用する

最後に適用された値に戻す

デフォルト設定に戻す

Group Tuning

プロファイルを読み込む

プロファイルを保存



- 本ユーティリティでCPU動作倍率を設定する前に、UEFI BIOS Utilityの「CPU Core Ratio」を[Auto]に設定してください。詳細はユーザーマニュアルのUEFI BIOS設定に関する項目をご覧ください。
- CPU動作倍率の調整バーの横に表示されるイメージは、CPUコアの状態を表示します。表示されるバーの数はCPUにより異なります。

## Voltage

CPU Core Voltage

CPU Cache Voltage

設定を適用する

最後に適用された値に戻す

アンコア部電圧

プロファイルを読み込む

プロファイルを保存

## GPU Boost

電圧および動作周波数調整

CPU VCCSA電圧

設定を適用する

最後に適用された値に戻す

デフォルト設定

プロファイルを読み込む

プロファイルを保存



- ・ オバークロックの効果は、CPUモデルとシステム構成により異なります。
- ・ オーバーヒートによるマザーボードの故障を防ぐため、冷却システムの増強を強くお勧めします。

## EPU

EPUは電力管理をアシストするツールで、システムの多様な電力要求に応えます。このユーティリティには4つのモードがあり、状況に応じて設定を行うことで、システムの消費電力を抑えることができます。また、各モードでは個別にCPU電圧の調整や、ファンプロファイルの設定を変更することが可能です。

### EPUを使用する



- 「Configured Max CPU Power(CPU最大電力)」の設定を変更した場合、Windows® OSのシステム情報で動作周波数が800MHzとして表示される場合があります。正確なCPU動作周波数は、手動で設定したCPU最大電力の値により変化します。
- 「Configured Max CPU Power(CPU最大電力)」の設定を変更した場合、CPUへ供給される供給電力量が減少し、高負荷時のパフォーマンスは低下します。デフォルト状態に戻す場合は、EPUの設定を変更しシステムを再起動してください。

## DIGI+ Power Control

ASUS DIGI+ Power Control は、周波数とVRM電圧を調節し安定性を強化します。また、非常に優れた電力効率を実現し発生する熱を最小限に抑えますので、コンポーネントの寿命を延ばし、電力消費を抑えます。

### CPU

#### • CPU Power Duty Control

CPU用電圧調整モジュール(VRM)の制御方法を設定します。温度または電流、どちらを重視して制御を行うかを選択します。電流を重視することにより、オーバークロック時に安定した動作を得ることができます。

#### • CPU Load-line Calibration

CPUへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。高い値を設定することにより、電圧の降下を防ぎオーバークロックの範囲を広げることができます。ただし、CPUと電圧調整モジュール(VRM)からの発熱量は増加します。

#### • CPU Current Capability

CPUに供給する電流の上限值を設定します。高い値を設定することにより、電力供給量が増加しオーバークロック可能な範囲が広がりますが、VRMの消費電力は増加します。

#### • CPU Power Thermal Control

オーバークロック用にCPU用電圧調整モジュール(VRM)の許容温度範囲を設定します。高い値を設定することにより、許容温度が高くなりオーバークロック可能な範囲が広がりますが、VRMの消費電力は増加します。

#### • CPU Power Phase Control

動作中のCPU用電圧調整モジュール(VRM)数の制御方法を設定します。システム負荷の高い状態で稼働フェーズ数を増やすことにより、高速過渡応答と高い伝熱性能を得ることができます。システム負荷の低い状態で稼働フェーズ数を減らすことにより、VRMの変換効率が向上し発熱を抑えることができます。

#### • CPU Voltage Frequency

CPU用電圧調整モジュール(VRM)のスイッチング周波数の制御方法を設定します。スイッチング周波数を高くすることでVRMの過渡応答を高めることができます。ただし、発熱量は増加します。

### DRAM

#### • DRAM Power Phase Control

メモリー用電圧調整モジュール(VRM)数の制御方法を設定します。**[Extreme]**は全ての電圧調整モジュールを稼働することによってシステムパフォーマンスが向上し、**[Optimized]**は効率的に電圧調整モジュール数を制御します。

#### • DRAM Current Capability

オーバークロック用にメモリー用電圧調整モジュール(VRM)の電力供給量の範囲を設定します。高い値を設定することにより、電力供給量が増加しオーバークロック可能な範囲が広がりますが、VRMの消費電力は増加します。

#### • DRAM Voltage Frequency

メモリー用電圧調整 (VRM) のスイッチング周波数の制御方法を設定します。高い値を設定することにより、電力供給量が増加しオーバークロック可能な範囲が広がりますが、VRMの消費電力は増加します。



- 
- 実際のパフォーマンスは取り付けられたCPUとメモリーによって異なります。
  - 本項目の設定を変更する場合は、必ず適切な冷却装置を取り付けた上で行ってください。
-

## Fan Xpert 2

Fan Xpert 2 は、取り付けられた冷却ファンを自動で検出し、ファンの仕様や取り付け位置に基づいて最適な回転数に調整します。

### Fan Xpert 2 を使用する



### カスタマイズ設定

#### Smart Mode

システムの温度に基づいて、ファン回転数の反応速度を調節することができます。



## RPM Mode

CPU温度が75°Cを下回った場合のファン固定回転数を設定します。

ファン固定回転数

7400

05 75 85 °C

Fan Power	Fan Speed
100 %	4937 rpm
95 %	4208 rpm
90 %	3480 rpm
75 %	3047 rpm
60 %	2500 rpm
55 %	1873 rpm
40 %	1624 rpm
25 %	1573 rpm
10 %	1573 rpm
0 %	1573 rpm

Maximum Speed  
4937 ± 0 (100%)  
Minimum Speed  
1577 (10%)  
Controllable Range  
41% ~ 100%

最後に適用された値に戻す

設定を適用する

前の画面に戻る

ファンの切り替え



- CPU温度が75°Cを超えた場合、ファンは自動的に最大回転数で動作します。
- Fan Xpert 2 は、外部ファンコントローラーに接続されたファンを正常に検出・制御することはできません。
- 2ピン接続のファンはFan Xpert 2 で使用することはできません。2ピン接続のファンを接続した場合、ファンは最大回転数でのみ動作します。
- CPUファンまたはケースファンを変更した場合、再度Fan Tuning(ファンの調整)を行う必要があります。



Fan Tuning(ファンの調整)中は、ファンを取り外さないようご注意ください。

## ASUS Wi-Fi GO! カード

Wi-Fi GO! カードはあなたのシステムのネットワークを拡張する、非常に使いやすいワイヤレスネットワークアダプターです。Wi-Fi GO! カードでは通常のネットワークアダプター機能だけでなく、システムをアクセスポイントして動作させる「AP Mode」に対応しており、ワイヤレスルーターが無くとも様々なデバイスとネットワークを共有することができます。Wi-Fi GO! カードは購入時からマザーボードに取り付けられているので、煩わしい取り付け作業をすることなく、どなたでも簡単にワイヤレスネットワーク環境をお楽しみいただくことができます。



Wi-Fi EngineのAP Modeでは、2.4GHz帯を使用して通信を行うため、5GHz帯のみを利用するIEEE 802.11ac規格での通信を行うことはできません。

## ASUS Wi-Fi GO! カード 仕様一覧

Bluetooth v4.0/3.0 + HS Wi-Fi 802.11 a/b/g/n/ac

無線規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
Bluetooth規格	Bluetooth v4.0/3.0 + HS
伝送速度	802.11ac クアッドチャンネル通信利用時(HT80*): 最大867Mbps 802.11n デュアルチャンネル通信利用時(HT40*): 最大300Mbps 802.11n デュアルチャンネル通信非利用時(HT20*): 最大150Mbps 802.11g: 最大54Mbps 802.11b: 最大11Mbps 802.11a: 最大54Mbps * Wi-Fi EngineのAP Modeは、802.11n HT20モードでの通信となります。また、Windows® OSのSoftAP機能の制限により最大伝送速度は144Mbpsとなります。
セキュリティ	WEP, WPA & WPA2* * 65Mbpsを超えるリンク速度を使用する場合、WPA2またはオープンシステム認証方式をご利用ください。
動作モード	AP Mode Client mode
周波数	2.4GHz / 5GHz ISM / バンド
伝送距離	<b>Wi-Fi:</b> * 屋外: 最大300m 屋内: 最大100m * 伝送距離やデータ転送速度は、周囲の環境や条件により大きく変動します。 <b>Bluetooth:**</b> 10m ~ 20m ** 伝送距離は、通信を行うBluetooth機器の性能やそれぞれの電源容量、周囲の環境に依存します。
アンテナ	アンテナ1: Wi-Fi Tx / Rx アンテナ2: W-Fi Tx / Rx + Bluetooth Wi-Fi / Bluetooth アンテナ用ポート × 1 (SMAタイプ)
LED	<b>Wi-Fi:</b> Green LED: Wi-Fi enabled LED off: Wi-Fi disabled <b>Bluetooth:</b> Blue LED: Bluetooth enabled LED off: Bluetooth disabled Blinking blue LED: Data activity
サポートOS	Windows® 7 / Windows® 8 (32bit / 64bit)
独自機能	ASUS Wi-Fi Engine ASUS Wi-Fi GO!

\* 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

## ASUS Wi-Fi GO! カード仕様一覧

Bluetooth v4.0/3.0 + HS Wi-Fi 802.11 a/b/g/n

無線規格	IEEE 802.11 a/b/g/n
Bluetooth規格	Bluetooth v4.0/3.0 + HS
伝送速度	802.11n デュアルチャンネル通信利用時(HT40*): 最大300Mbps 802.11n デュアルチャンネル通信非利用時(HT20*): 最大150Mbps 802.11g: 最大54Mbps 802.11b: 最大11Mbps 802.11a: 最大54Mbps * Wi-Fi EngineのAP Modeは、802.11n HT20モードでの通信となります。また、Windows® OSのSoftAP機能の制限により最大伝送速度は144Mbpsとなります。
セキュリティ	WEP, WPA & WPA2* * 65Mbpsを超えるリンク速度を使用する場合、WPA2またはオープンシステム認証方式をご利用ください。
動作モード	AP Mode Client mode
周波数	2.4GHz & 5GHz ISMバンド
伝送距離	<b>Wi-Fi:*</b> 屋外: 最大300m 屋内: 最大100m * 伝送距離やデータ転送速度は、周囲の環境や条件により大きく変動します。 <b>Bluetooth:**</b> 10m ~ 20m ** 伝送距離は、通信を行うBluetooth機器の性能やそれぞれの電源容量、周囲の環境に依存します。
アンテナ	アンテナ1: Wi-Fi Tx / Rx アンテナ2: Wi-Fi Tx / Rx + Bluetooth Wi-Fi / Bluetooth アンテナ用ポート×1 (SMAタイプ)
LED	<b>Wi-Fi:</b> Green LED: Wi-Fi enabled LED off: Wi-Fi disabled <b>Bluetooth:</b> Blue LED: Bluetooth enabled LED off: Bluetooth disabled Blinking blue LED: Data activity
サポートOS	Windows® 7 / Windows® 8 (32bit / 64bit)
独自機能	ASUS Wi-Fi Engine ASUS Wi-Fi GO!

\* 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。



- Wi-Fi EngineのAP Modeは、Windows® OSのSoftAP機能を使用しています。AP Modeの通信規格はIEEE 802.11nを利用しており、Windows® OSのSoftAP機能の制限により、2.4GHz帯のみに対応しています。
- AP Modeのリンク速度上限は144Mbpsです。この制限は、本製品のWi-Fiモジュールに起因するものとなります。40MHz幅(HT40)を利用してリピーター接続することで、リンク速度300Mbpsで通信することができます。
- AP Modeで通信する際の暗号化方式は、WPA2-PSKと互換性のある「RSNA-PSK」が自動的に利用されます。その他の暗号化方式を利用することはできませんのでご注意ください。RSNA-PSKの詳細については、下記URLをご覧ください。  
<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ff570721.aspx>

## インストールする

### システム要件

Wi-Fi GO! カードを使用するには、ご利用のシステムが以下の要件を満たしている必要があります。

1. Windows® 7 / Windows® 8 (32bit / 64bit) のオペレーティングシステム環境
2. サポートDVDのデータを読み込むための、DVD-ROMドライブ
3. マザーボードに付属のサポートDVD
4. ASUS AI Suite III ユーティリティをインストールするための、システムドライブの空き領域



- Wi-Fi GO! カードを使用する場合は、製品に付属の「**2T2R デュアルバンド対応Wi-Fi / Bluetooth アンテナ**」をWi-Fi GO! カードに接続してください。
- Wi-Fi GO! カードの独自機能を使用するには、ASUS AI Suite III ユーティリティをインストールする必要があります。ASUS AI Suite III のインストール方法については、ご利用のマザーボードのユーザーマニュアルをご覧ください。

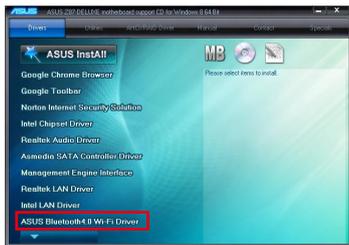
### Wi-Fi GO! カードのドライバーをインストールする



サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のドライバーやプログラムについては、ASUS公式サイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

#### 手順

1. サポートDVDを光学ドライブに挿入します。OSの自動実行機能（オートラン）が有効の場合、インストールウィザードが自動的に表示されます。
2. 「**ドライバー**」タブをクリックし「**ASUS Bluetooth 4.0 / Wi-Fi ドライバー**」をクリックします。
3. 画面上の指示に従いインストールを完了します。
4. インストールの完了後、コンピューターを再起動します。



### Wi-Fi GO! カードユーティリティ

Wi-Fi GO! カードは、ASUS AI Suite III ユーティリティ上で次の独自機能を使用することができます。

- **Wi-Fi Engine:** クライアントとして無線ネットワークに接続したり、コンピューターをアクセスポイントとしてWi-Fi対応デバイスとネットワークを共有することができます。
- **Wi-Fi GO!:** ホームクラウドコンピューティング環境を提供します。



それぞれの詳しい機能については、以降の説明をご覧ください。

## Wi-Fi Engineを使用する

Wi-Fi GO! メインメニューから「Wi-Fi Engine」を開始します。

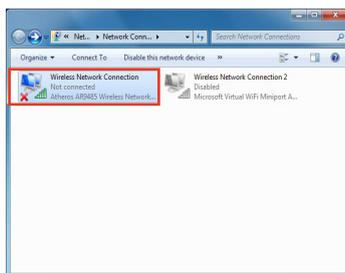


### Client Mode

システムをアクセスポイントまたはホストルーターに接続することができます。

手順

1. Wi-Fi Engineメニューから「Client Mode」をクリックし「ネットワーク接続」ウィンドウを開きます。
2. ワイヤレスネットワーク接続を設定するネットワークアダプターをダブルクリックします。



2. ネットワークリストから、接続を行うアクセスポイントまたはホストルーターのネットワーク名(SSID)を選択します。



パスワードが不明な場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



## AP Mode

お使いのコンピューターをワイヤレスネットワークのアクセスポイントとして使用し、ネットワークを共有することができます。

Wi-Fi Engineメニューから「AP Mode」をクリックします。

前の画面に戻る

共有するインターネット接続の選択

ネットワーク名 (SSID)

セキュリティキー (暗号化キー)

セキュリティキーの確認

AP Modeの無効化

AP Modeの有効化



- AP Modeにおけるインターネット接続共有はネットワークアダプタードライバーに依存しています。
- Windows® 8の制限により、AP Modeを初めてセットアップする場合は数分かかる場合があります。
- AP Modeでは、2.4GHz帯を使用して通信を行うため、5GHz帯のみを利用するIEEE 802.11ac規格での通信を行うことはできません。
- AP Modeは、Windows® OSのSoftAP機能を使用しています。AP Modeの通信規格はIEEE 802.11nを利用しており、Windows® OSのSoftAP機能の制限により、2.4GHz帯のみに対応しています。
- AP Modeのリンク速度上限は144Mbpsです。この制限は、本製品のWi-Fiモジュールに起因するものとなります。40MHz幅(HT40)を利用してリピーター接続することで、リンク速度300Mbpsで通信することができます。
- AP Modeで通信する際の暗号化方式は、WPA2-PSKと互換性のある「RSNA-PSK」が自動的に利用されます。その他の暗号化方式を利用することはできませんのでご注意ください。

## Wi-Fi GO!

Wi-Fi GO!は今まで以上に簡単にホームエンタテインメントを楽しむことのできる非常に便利な機能です。ホームネットワーク内で、DLNA (Digital Living Network Alliance)メディアハブとして2つのデバイス間でコンテンツを共有したり、スマートデバイスを使用してコンピューターへリモートアクセスする、コンピューターとスマートデバイス間でファイルを転送するなど、様々なホームネットワーク機能を提供します。

## システム要件

システム要件	PC	スマートデバイス
OS	Windows® 7/Windows® 8	Android™OS 2.3 以降 iOS 5.0 以降
ユーティリティ	ASUS AI Suite III	ASUS Wi-Fi GO! & NFC Remote



- 本機能をご使用になるには、付属のサポートDVDからWi-Fi/Bluetooth モジュール用ドライバーとAI Suite III ユーティリティをインストールする必要があります。
- 「Wi-Fi GO! & NFC Remote」アプリケーションはApp Store、またはGoogle Playから無料でダウンロードいただけます。



- 本機能で使用するすべてのデバイスは同一ネットワーク上にある必要があります。
- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

## スマートデバイス対応解像度

Wi-Fi GO! & NFC Remoteは次の解像度をサポートしています。

画面タイプ	低密度 120 ldpi	中密度 160 mdpi	高密度 240 hdpi	高密度 320 xhdpi
解像度		WXGA (1280×800)	1536×1152	2048×1536
	1024×600	1024×768	1920×1152	2560×1536
		1280×768	1920×1200	2560×1600

## Wi-Fi GO! を使用する

AI Suite III のメインメニューバーを表示し、「Wi-Fi GO!」をクリックします。



- Wi-Fi GO! 機能を使用するには、スマートデバイスにWi-Fi GO! & NFC Remoteアプリケーションをインストールする必要があります。
- 不正なアクセスからコンピューターを保護するために、Wi-Fi GO! の使用を開始する前に  をクリックし、パスワードを設定することをお勧めします。
- Wi-Fi GO! 機能を使用するには、AI Suite III ユーティリティを起動する必要があります。

## Wi-Fi GO! & NFC Remoteを使用する

Wi-Fi GO! & NFC RemoteではWi-Fi接続を通じ、スマートデバイスでコンピューターを遠隔操作することができます。

### Wi-Fi GO! & NFC Remoteを起動する

1. スマートデバイスの無線機能をオンにします。お使いのスマートデバイスとコンピューターが同一ネットワーク上にあることをご確認ください。
2. スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteアプリケーション  を起動し、「**起動**」をタップしてコンピューターの検出を開始します。
3. 一覧から接続を行うコンピューターをタップします。

### Wake-on-LANを使用する

スマートデバイスでコンピューターをスリープモードから復帰させることができます。スリープから復帰させるにはコンピューターのWake-on-LAN設定を有効にする必要があります。

手順

1. UEFI BIOS Utilityを起動し、Advanced Modeで「**Advanced**」→「**APM**」の順に進み、「**Power On By PCIE/PCI**」を[**Enabled**]に設定します。
2. 次の指示に従い、Windows® OSの設定を行います。
  - a. スタートメニューのコンピューターを右クリックし「**管理**」をクリック、またはスタート画面のすべてのアプリ内にあるコンピューターを右クリックし「**コンピューターの管理**」を選択し、コンピューターの管理を起動します。
  - b. 「**デバイスマネージャー**」をクリックし、取り付けられたデバイスの一覧を表示します。
  - c. 「**ネットワークアダプター**」をクリックして展開し、Wake-on-LANを実行するためのネットワークアダプターを右クリックします。コンテキストメニューの「**プロパティ**」を選択し、「**電力の管理**」タブを開きます。
  - d. 「**このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする**」と「**Magic Packet でのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする**」の2つの項目をチェックします。



---

IEEE 802.11ac 規格対応 ASUS Wi-Fi GO! カードのWake-on-LAN 機能は、Windows® 8 でのみサポートします。

---

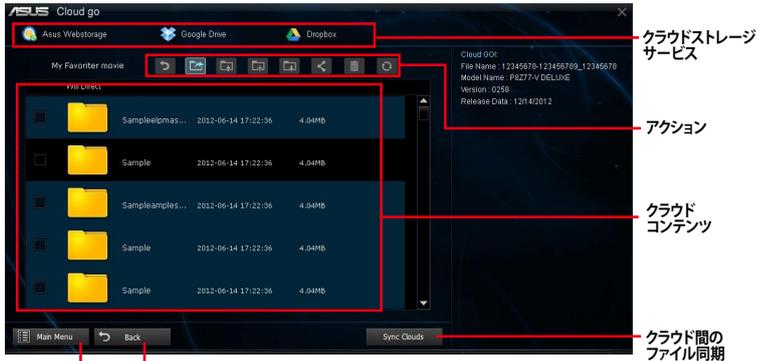
## Wi-Fi GO機能

- **Cloud GO!:** 複数のクラウドストレージを管理することのできる統合プラットフォームで、クラウドストレージをより使いやすく、より拡張性を高め、より効率的にします。
- **Remote Desktop:** 仮想リモートデスクトップを作成することによりスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスからのアクセスとリアルタイム操作を容易にします。
- **DLNA Media Hub:** スマートデバイスをDLNA対応デバイスのハブとして使用することで、ネットワークを介して、あなたのPCに保存されているHDコンテンツ、音楽、写真、動画などをDLNA対応デバイスで簡単にお楽しみいただけます。
- **File Transfer:** ネットワークを介してコンピューターとスマートデバイス間で簡単にファイルを転送し共有することを可能にします。
- **Smart Sensor Control:** スマートフォンやタブレットのジャイロスコープを利用して、アプリケーションを操作することができます。
- **Remote Keyboard & Mouse:** スマートフォンやタブレットのタッチパネルを利用して、コンピューターのマウスやキーボード操作を行うことができます。
- **Capture & Send:** コンピューターのスクリーンショットを撮影し、簡単に他のスマートデバイスへ送信することを可能にします。

## Cloud GO!を使用する

### 手順

1. Wi-Fi GO! メインメニューから「**Cloud GO!**」を開始します。
2. 「**起動**」をクリックし、Cloud GO!を起動します。初回起動時は使用許諾に同意をチェックしてください。
3. 利用したいクラウドストレージサービスを選択し、「**Sing in**」をクリックしてサービスにログインします。



メインメニュー

前の画面に戻る



- スマートデバイスでクラウドストレージサービスにアクセスするには、事前にコンピューターのWi-Fi GO!で各サービスにログインしてください。この際「**Remember me**」を必ずチェックしてください。
- 仕様により、同期することができるファイルの最大ファイルサイズは、最大100MBまでとなります。
- Cloud GO!を使用する前に、システムの日付と時刻が正しく設定されていることをご確認ください。
- クラウドストレージサービス間のファイル同期を実行した場合、同期されたファイルはクラウドストレージ内の「**Wi-Fi GO!**」フォルダーに保存されます。Backupでローカルドライブに保存したファイルは、Cドライブ直下の「**MyFavorite**」フォルダーに保存されます。

## Remote Desktopを使用する

### 手順

1. スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「**Remote Desktop**」を起動します。
2. 「**Extended Mode**」または「**Main Screen Mode**」を選択し、コンピューターを遠隔操作します。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

## DLNA Media Hubを使用する



- DLNA Media Hub機能を使用するには、受信デバイス(クライアント)で事前に設定を行う必要があります。次の手順に従って設定を行ってください。
  - Windows Media® Playerを起動します。
  - Windows Media® Playerコマンドバーの「ストリーム」をクリックし、次の2つの項目を有効にします。
    - プレーヤーのリモート制御を許可
    - デバイスでのメディア再生を自動的に許可
- 送信デバイスとして使用するコンピューターは、Windows® のメディアストリーミング機能を有効にする必要があります。
- Windows® OSのコンピューターを受信デバイスとして使用する場合は、Windows Media® Playerを起動したままの状態にしてください。再生可能なメディアファイルはWindows Media® PlayerとDLNAでサポートされるファイル形式のみです。

## コンピューターでDLNA Media Hubを使用する

Wi-Fi GO! メインメニューから「DLNA Media Hub」を起動します。



## スマートデバイスでDLNA Media Hubを使用する

- スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「DLNA Media Hub」を起動します。
- 受信デバイスをタップして選択します。 Receiver : ASUS (ASUS-PC : WINDOWS MEDIA PLAYER)
- 正しく接続が行われると、画面上に登録されたファイルリストが表示されます。受信デバイスでの再生を行いたいファイルをタップし、再生を開始します。

## File Transferを使用する



メインメニュー

前の画面に戻る

適用

保存ディレクトリ

### ホストコンピューターからファイルを送信する

1. スマートデバイスに送信したいファイルを右クリックし、コンテキストメニューから「送る」→「受信デバイス(ユーザー名)」の順にクリックします。「受信デバイス(ユーザー名)」はご使用のスマートデバイスによって異なります。
2. 「転送が完了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしウィンドウを閉じます。



コンピューターからファイルを送信する場合は、スマートデバイス側のファイル転送機能を有効にする必要があります。

### スマートデバイスからファイルを送信する

1. スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「File Transfer」を起動します。
2. 送信したいファイルをタップしてチェックし、「送信」をタップしてファイル送信を開始します。
3. 「転送が完了しました。」と表示されたら「OK」をクリックしウィンドウを閉じます。



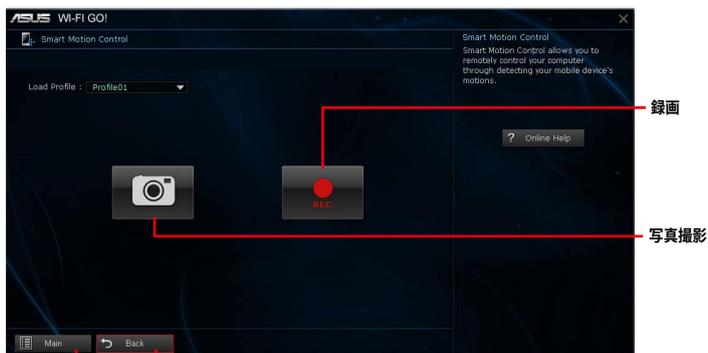
- 仕様により、PNG、BMP、JPG、GIF、TIFF ファイルフォーマット以外のファイルは、iOS デバイスに転送することができません。
- File Transferを使用してiOSデバイス上のファイルを送信する場合は、iOSの「設定」→「プライバシー」→「写真」にアクセスし、画面内に表示されている「Wi-Fi GO! & NFC Remote」を「オン」に変更してください。

## Smart Sensor Controlを使用する

1. コンピューターのWi-Fi GO! メインメニューから「Smart Sensor Control」を開始します。
2. 「カメラ」では、スマートデバイスに搭載されたカメラを使用して遠隔で写真や動画の撮影を行うことができます。



Smart Sensor Controlを使用するには、スマートデバイス上でSmart Sensor Controlの各機能が有効であることをご確認ください。



メインメニュー

前の画面に戻る



撮影されたデータは自動的にスマートデバイスのストレージに保存されます。

## スマートデバイスの設定

スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「Smart Sensor Control」を起動します。



マイク機能の有効化

音質の調整

ジャイロスコープ機能の有効化



- ジャイロスコープ機能とマイク機能はWindows® 8環境下でのみ利用することができます。
- マイク機能の音質はWi-Fi 環境に依存します。
- 音声コントロールコマンドの詳細は、Microsoft社のオフィシャルサイトをご覧ください。  
<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/using-speech-recognition>

## Remote Keyboard & Mouseを使用する

スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「Remote Keyboard & Mouse」を起動します。



## Capture & Sendを使用する

コンピューターのWi-Fi GO! メインメニューから「Capture & Send」を開始します。



Capture & Sendを使用する前に、スマートデバイス上でCapture & Send機能が有効であることをご確認ください。

# RF Equipment Notices

## CE: European Community Compliance Statement

The equipment complies with the RF Exposure Requirement 1999/519/EC, Council Recommendation of 12 July 1999 on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields (0–300 GHz). This wireless device complies with the R&TTE Directive.

## Wireless Radio Use

This device is restricted to indoor use when operating in the 5.15 to 5.25 GHz frequency band.

## Exposure to Radio Frequency Energy

The radiated output power of the Wi-Fi technology is below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, it is advised to use the wireless equipment in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

## FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be colocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

## Bluetooth Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

## NCC: Taiwan Wireless Statement

### 無線設備的警告聲明

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更射頻、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信法規定作業之無線通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

於 5.25GHz 至 5.35GHz 區域內操作之  
無線設備的警告聲明

工作頻率 5.250 ~ 5.350GHz 該頻段限於室內使用。

## Japan RF Equipment Statement

### 屋外での使用について

本製品は、5GHz 帯域での通信に対応しています。電波法の定めにより5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波は屋外で使用が禁じられています。

### 法律および規制遵守

本製品は電波法及びこれに基づく命令の定めるところに従い使用してください。日本国外では、その国の法律または規制により、本製品を使用ができないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果、罰せられることがあります。当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。